

ナットコレクター ナットワンタッチ スーパーチップ (多種チップ)

検出シリーズ

デモ機用
多打点

特許出願



◆スーパーチップ・特徴、合理化できる

スーパーチップはナットワンタッチと併用して使用されます。通常、スポット溶接機でワークに2種類、3種類・・・のナット溶接をする場合、今まではナットの種類の数だけの工程を繰り返したり、スポット溶接機をナットの種類分、台数を増やして生産してきました。そこで、スーパーチップを使用すれば、複数のナットと多種類のナット溶接が1台のスポット溶接機で完成品になり合理化は可能です。

☆設定ポイント数は最大250ポイントあります。

◆仕様方法

スーパーチップは上部電極ナット押えチップとして取付けて使用します。下部電極は★回転させてガイドピンの種類を変える方法★回遊してガイドピンを左右に動かす方法★ガイドピンの共用できる3段ピンでナット2種類可、など方法は有ります。こういった設備になれば使用場所のスペースが少なくすんで、コスト、生産タクト時間、不良品も削減されます。又、合理化対策にも繋がります。

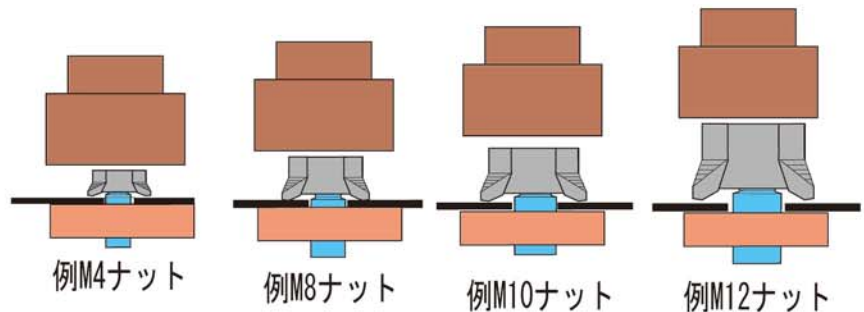
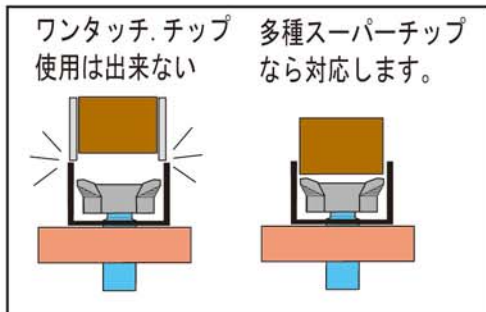
◆スーパーチップの構造

ナットが押された瞬間の圧力を検知し、ナットワンタッチが制御して判定します。

◆使用例、ナット押えチップは電極だけ

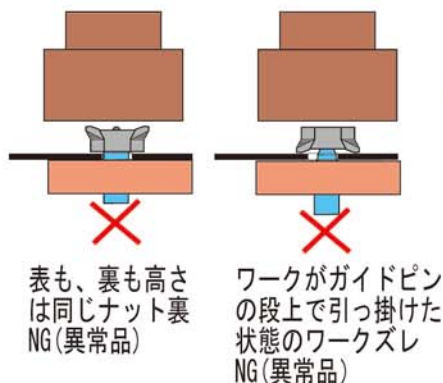
☆こんな場合も多種チップは効果を発揮します

☆スーパーチップ「1個」で多種類ナット溶接検出例



☆このように、スーパーチップを使用して複数の多打点溶接、多種類のナット溶接を可能にしました。NG時は溶接前に機械がストップしブザーとランプで通報し溶接はされません。

← ☆左絵のようなNG(異常品)も簡単に検出ができスーパーチップとナットワンタッチを併用すればナット溶接の不良品は発生致しません。



☆ナットワンタッチ・スーパーチップを使用して検出の実施

1. 単打点で多種チップを使う、使わない検出実施例
2. スーパーチップを使い回転電極で設定、検出実施
3. 回転電極でNG(不良品)の状態を検出実施

◎スーパーチップを起動させるにはナットワンタッチ・スーパー電極及び中継コントロールBOXが必要になります (多種電極)



株式会社 ヤマダスポット